

## 地震火山観測研究センター一年報 : 2005 年度版

<https://doi.org/10.15017/16957>

---

出版情報 : 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター一年報. 2005, 2006-10. 九州大学大学院理学研究院 附属地震火山観測研究センター

バージョン :

権利関係 :

# SEVO NEWS

2005年4月5日

●インドネシア気象庁所属のRizkita Parithustaさんが来日し、九州大学の研究生として入学しました。日本語研修コースを受講したのち、センターに配属され、2006年度博士後期課程に入学しました。

2005年4月11-13日

●警固断層周辺の地殻変動観測強化のため、福岡市に高宮浄水場(FKTO)および西公園(FKNO)、粕屋町に九大農場(QUAF)GPS観測点を新設しました。

2005年4月13-14日

●福岡県西方沖地震の余震観測のために、2005年3月25-27日に東京大学地震研究所と共同で玄界灘に設置した海底地震計11台の回収作業が実施されました。

2005年4月20日

●USGS 客員研究員の中道治久博士によるセミナーが、センター新館で行われました。タイトル：「富士山と南部フォッサ・マグナの3次元速度構造」

2005年4月22日

●警固断層周辺の地殻変動観測強化のため、篠栗町に九大演習林(QUAE)GPS観測点を新設しました。

(松島, 河野)

2005年4月27日

●福岡県西方沖地震の研究のため、福岡市の西公園内に72台の地震計からなる地震計アレイを設置し、観測を開始しました。

2005年5月8-13日

●長崎大学水産学部の長崎丸(842 総トン)を使用し、九州東方の日向灘に23台(うち九州大学13台)の海底地震計を設置しました。これは、長崎大学、東北大学、東京大学、鹿児島大学との共同研究であり、日向灘における沈み込みの特徴(スラブ形状、応力場など)の解明のため、自然地震観測を行います。設置航海には九大から植平・内田・堀・齊藤・大久保・馬場が参加しました。

2005年5月16日

日向灘における海底地震観測に合わせて、宮崎県北浦町臨時地震観測点を設置しました。(植平)

2005年5月20日

●志賀島勝馬(FKS3)臨時地震観測点を新設しました。

(松島, 齊藤)

2005年5月30日

●平成新山の調査登山を行いました。防災関係者十数名が同行しました。(清水, 松島, 渡邊, 河野, 齊藤)

2005年6月3日

●熊本地方でマグニチュード4.8の地震が発生し、上天草市で震度5弱が観測されました。この地震活動を観測するため、大矢野町維和島(OYIQ)と八代市二見(YFAQ)に臨時観測点を新設しました。

2005年6月4-8日

●2002年から観測を続けていた富士火山集中観測の地震観測点および、2004年10月の新潟県中越地震観測で設置していた地震観測点やGPS観測点を撤収しました。

(松島, 齊藤)

2005年6月26日

●清水 洋が長崎県地学会の会長に選任されました。

2005年7月14-21日

●2005年5月に日向灘に設置した海底地震計を長崎大学水産学部の長崎丸を使用して回収しました。

(植平, 河野, 堀, 齊藤, 中元真美(B2))

2005年8月3-6日

●浅間山火山集中観測の一環として、浅間山山麓に2ヶ所の衛星通信地震観測点を鹿児島大学南西島弧地震火山観測所と共同で設置しました。(植平)

2005年8月22-26日

●東京大学地震研究所と共同で北マリアナ連邦・アナタハン島火山の現地調査を実施しました。(松島)

2005年9月5-17日

●伊豆鳥島火山において地震観測・GPS観測・地温測定・火山ガス測定および地質調査を実施しました。

(松島, 齊藤)

2005年10月24-11月3日

●火山爆発の発生場と発生過程についての研究の一環として、北海道大学・秋田大学・東京大学・東京工業大学・京都大学・鹿児島大学・九州大学が共同で諏訪之瀬島火山体構造探査が実施されました。九州大学からは、清水・河野・馬場が参加しました。

2005年10月31日

●西南日本横断地殻変動プロファイリング研究(代表者:田部井隆雄・高知大教授)の一環として、松島・片木(地惑)が九大担当の広島県呉市周辺に3カ所のGPS

観測点を設置しました。11月14日まで観測を継続しました。

2005年11月3-8日

●東京大学地震研究所と共同で北マリアナ連邦・アナタハン島火山の現地調査を実施し、GPS観測装置や傾斜計データを回収しました。(松島)

2005年11月14-18日

●産業技術総合研究所と共同で薩摩硫黄島においてCOSPECとDOASを用いたSO<sub>2</sub>放出量同時観測を行いました。(齊藤)

2005年11月25日

●警固断層周辺の地殻変動観測強化のため、筑紫野市に福岡筑紫東(FCHO)GPS観測点を新設しました。

(松島, 河野)

2005年12月7-10日

●新潟県中越地方の地震観測のため、長岡市内に長岡袴沢(KU.CNHZ)と長岡金剛光寺(KU.CNKG)の臨時地震観測点を新設しました。(松本, 松島)

2005年12月20-21日

●警固断層周辺の地殻変動観測強化のため、福岡市南区に福岡田村(FTM0)および宇美町に福岡宇美(FUM0)GPS観測点を新設しました。(松島, 河野)

2006年1月16-17日

●「九州大学理学部地球惑星科学科専攻・特別研究発表会」が行われ、馬場龍太と大久保忠博が以下の発表を行いました。

馬場 龍太：諏訪之瀬島火山における二次元速度構造の推定

大久保忠博：日向灘における震源決定～海底地震計の有無による震源精度の比較～

2006年1月21日-2月9日

●エクアドルのキト市で開催された「第4回火山都市国際会議」に参加し研究発表を行うとともに、「第5回火山都市国際会議」の島原市開催へ向け、島原市役所の関係者と共に、現地視察およびハワイのヒロ市で情報収集を行いました。(清水, 松島, 河野)

●2007年11月に開催される、「第5回火山都市国際会議」の開催地が島原市に決定しました。

2006年1月24-25日

●「九州大学大学院理学部地球惑星科専攻・修士課程論文発表会」が行われ、堀美緒と齊藤政城が次の発表を

行いました。

堀 美緒：福岡県西方沖地震震源域における三次元地震波速度構造

齊藤政城：阿蘇中岳火口及びその周辺からの二酸化炭素放出量に関する研究

2006年2月9-18日

●文部科学省科学研究費・基盤研究(B)空中磁気測量による火山性磁場変動の検出(代表：田中良和 京大教授)の一環として、昨年に引き続き、ニュージーランド・ホワイトアイランド火山における空中磁気測量を実施しました。(渡邊)